

学校と家庭が連携した 学力向上の取組

— 全国学力・学習状況調査結果
から見る板橋区の課題 —

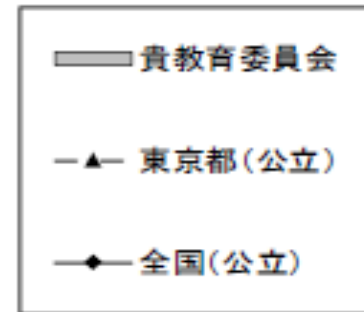
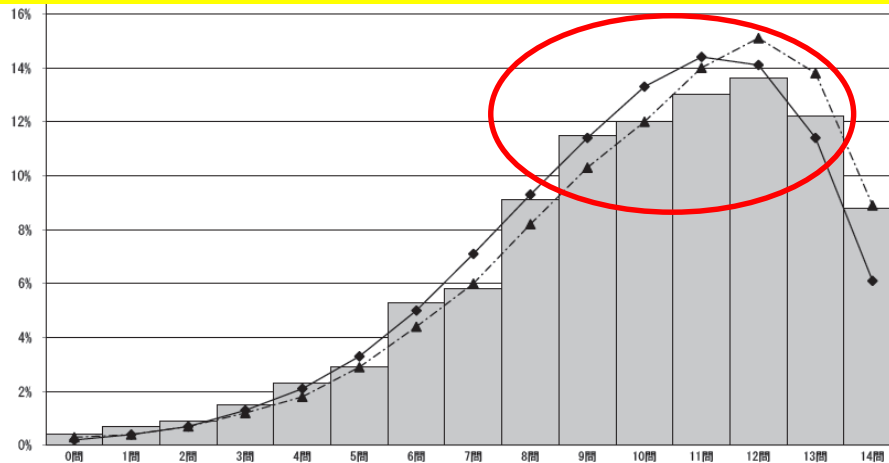
板橋区教育委員会事務局
指導室長 栗原 健

講演のねらい

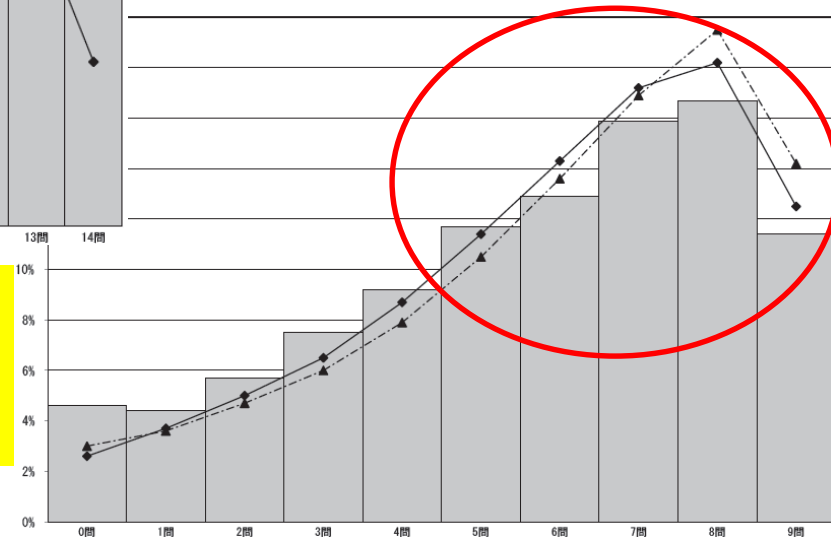
「学校と家庭が連携した学力向上の取組」について、ご参会の皆様がご自身の案をもつための手掛かりとなる情報を提供する。

H27全国学力・学習状況調査結果(小学校)

国語A問題...平均正答率
板橋区70.5% 全国70.0%

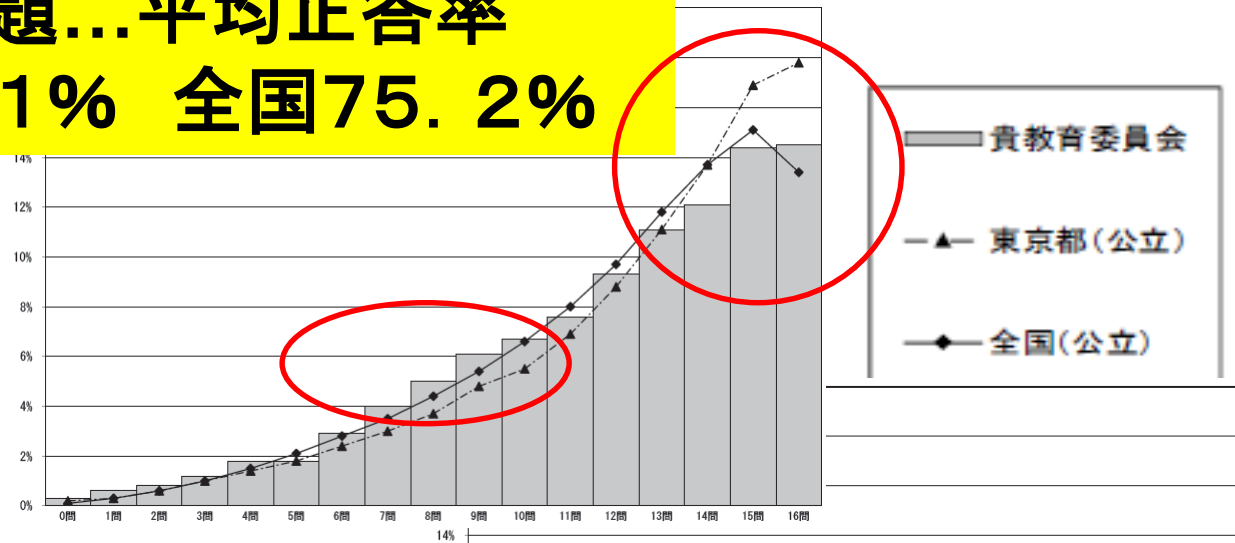


国語B問題...平均正答率
板橋区62.1% 全国65.4%

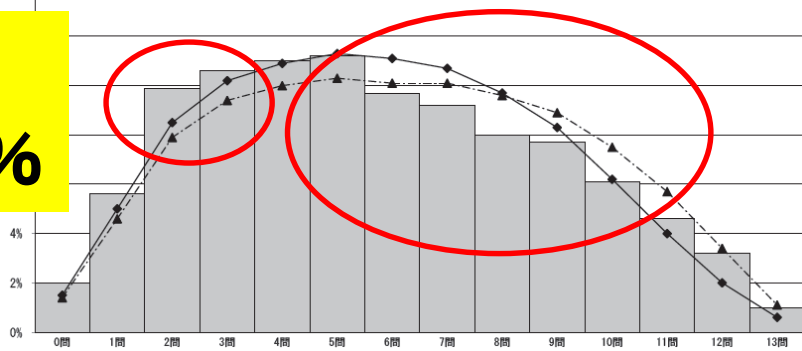


H27全国学力・学習状況調査結果(小学校)

算数A問題...平均正答率
板橋区74.1% 全国75.2%

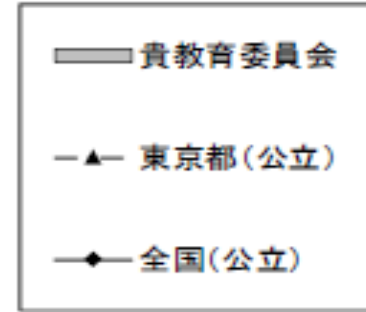
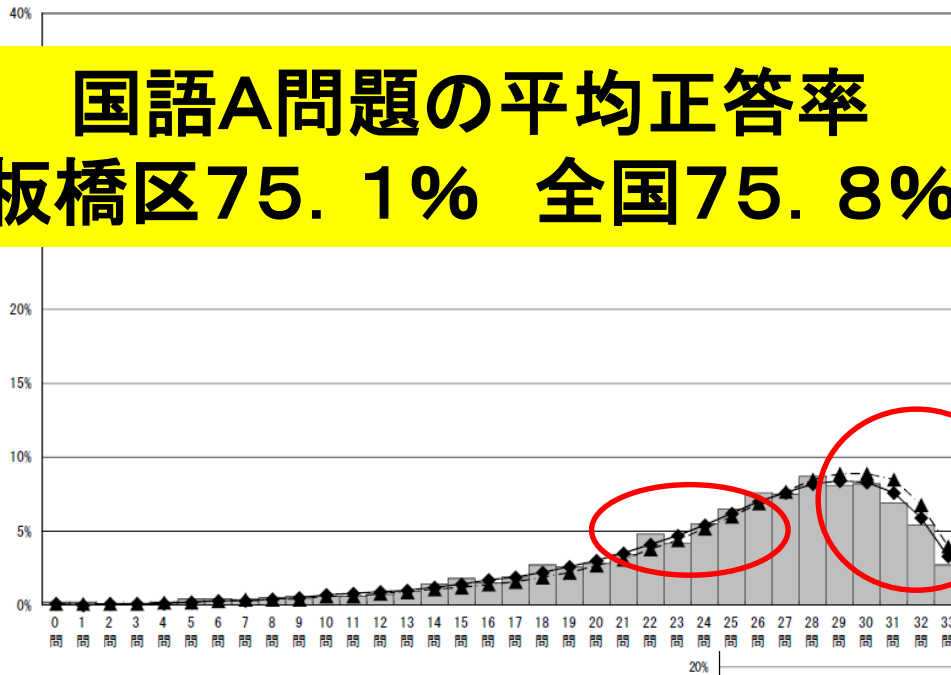


算数B問題...平均正答率
板橋区44.4% 全国45.0%

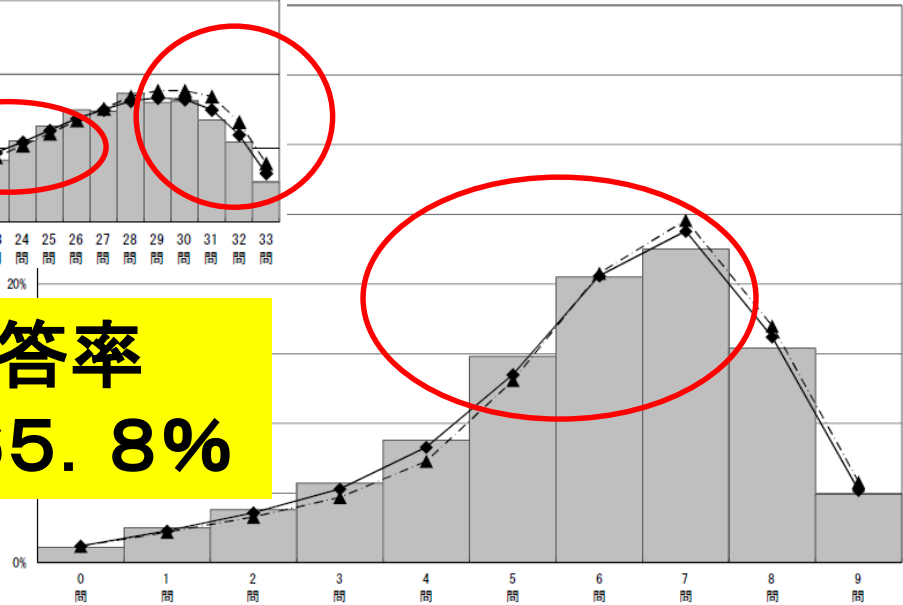


H27全国学力・学習状況調査結果(中学校)

国語A問題の平均正答率
板橋区75.1% 全国75.8%

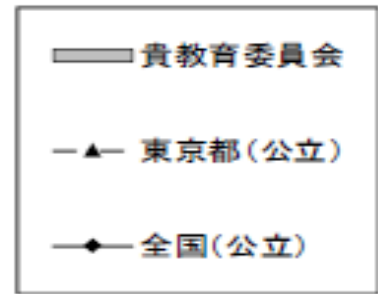
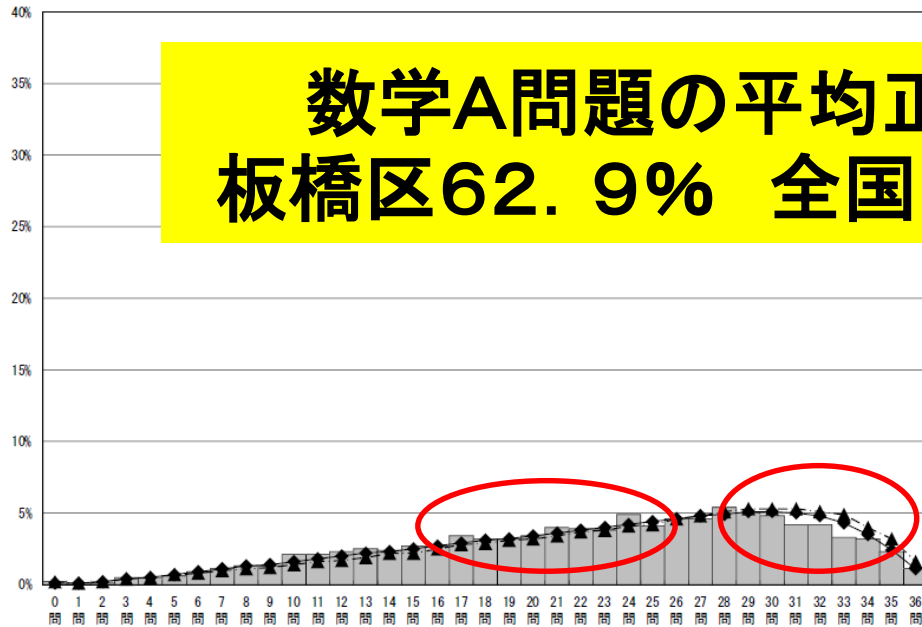


国語B問題の平均正答率
板橋区64.9% 全国65.8%

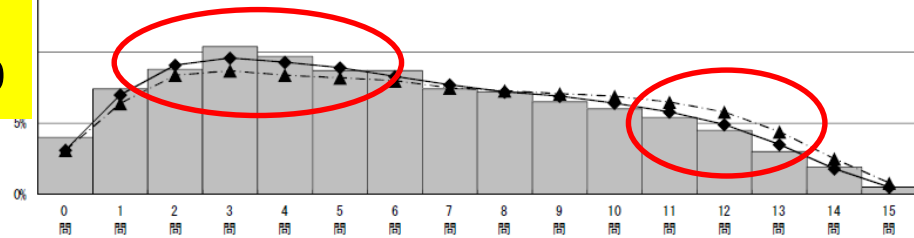


H27全国学力・学習状況調査結果(中学校)

数学A問題の平均正答率
板橋区62.9% 全国64.4%

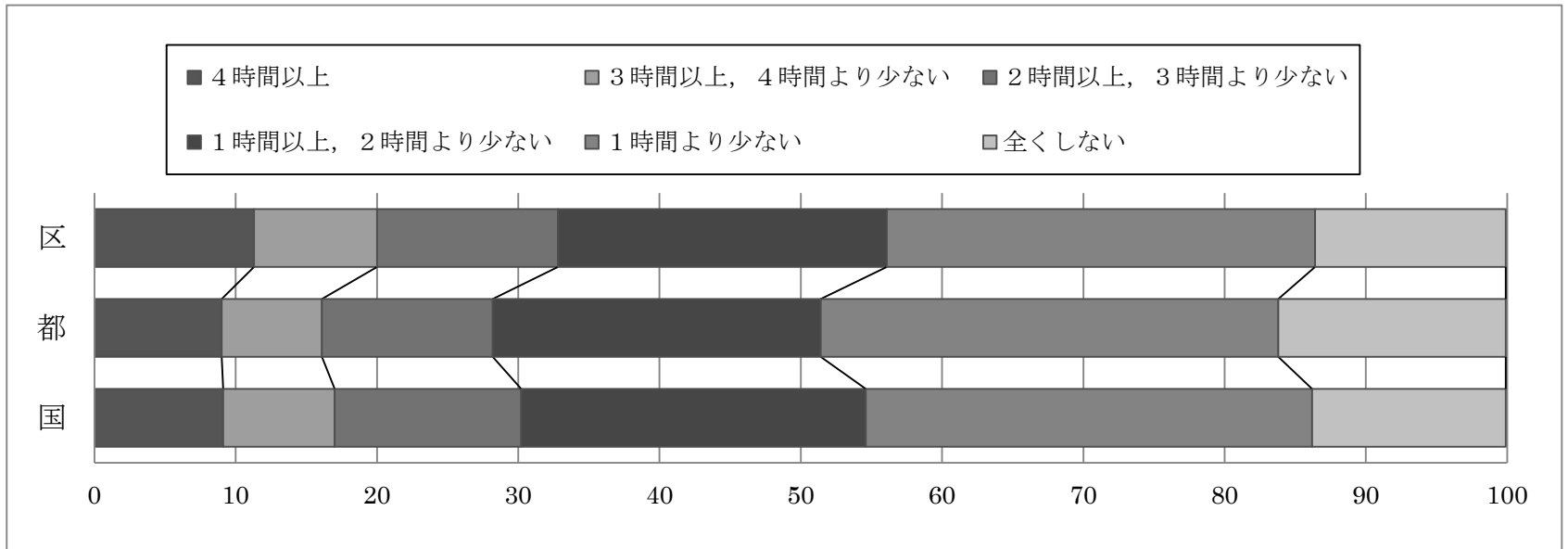


数学B問題の平均正答率
板橋区40.3% 全国41.6%



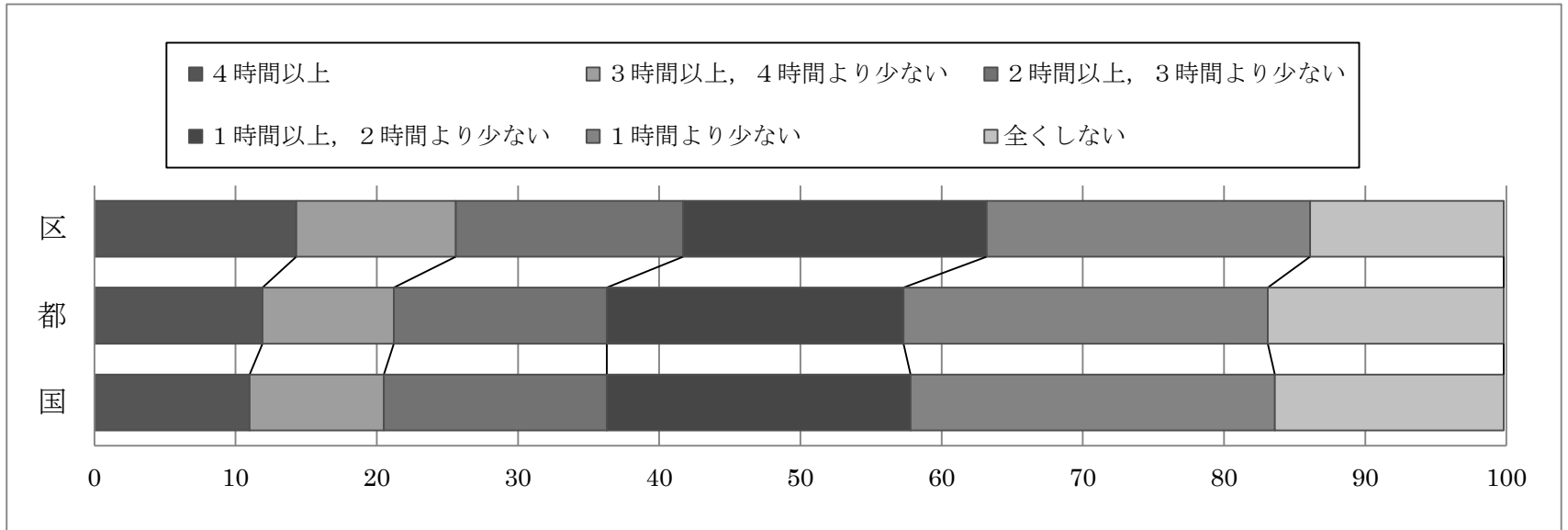
H27全国学力・学習状況調査結果(小学校)

普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，テレビゲーム（コンピュータゲーム，携帯式ゲーム含む）をしますか。 (%)		4時間以上	3～4時間	2～3時間	1～2時間	1時間未満	全く見ない
		区	11.3	8.7	12.8	23.3	30.3
	都	9.0	7.1	12.1	23.2	32.4	16.1
	国	9.1	7.9	13.2	24.4	31.6	13.7



H27全国学力・学習状況調査結果(中学校)

普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, テレビゲーム(コンピュータゲーム, 携帯式ゲーム含む)をしますか。 (%)		4時間以上	3～4時間	2～3時間	1～2時間	1時間未満	全くしない
		区	14.3	11.3	16.1	21.5	22.9
	都	11.9	9.3	15.1	21.0	25.8	16.7
	国	11.0	9.5	15.8	21.5	25.8	16.2

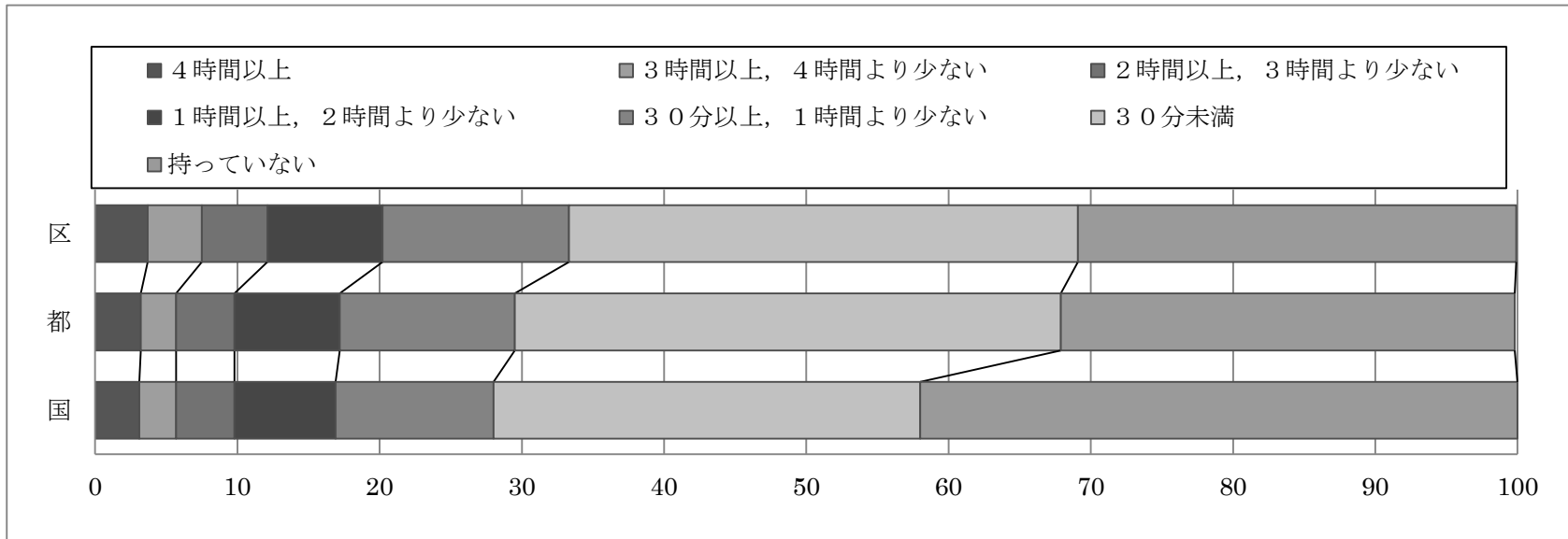


H27全国学力・学習状況調査結果(小学校)

普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンで通話やメール，インターネットをしますか（ゲームをする時間は除く）。

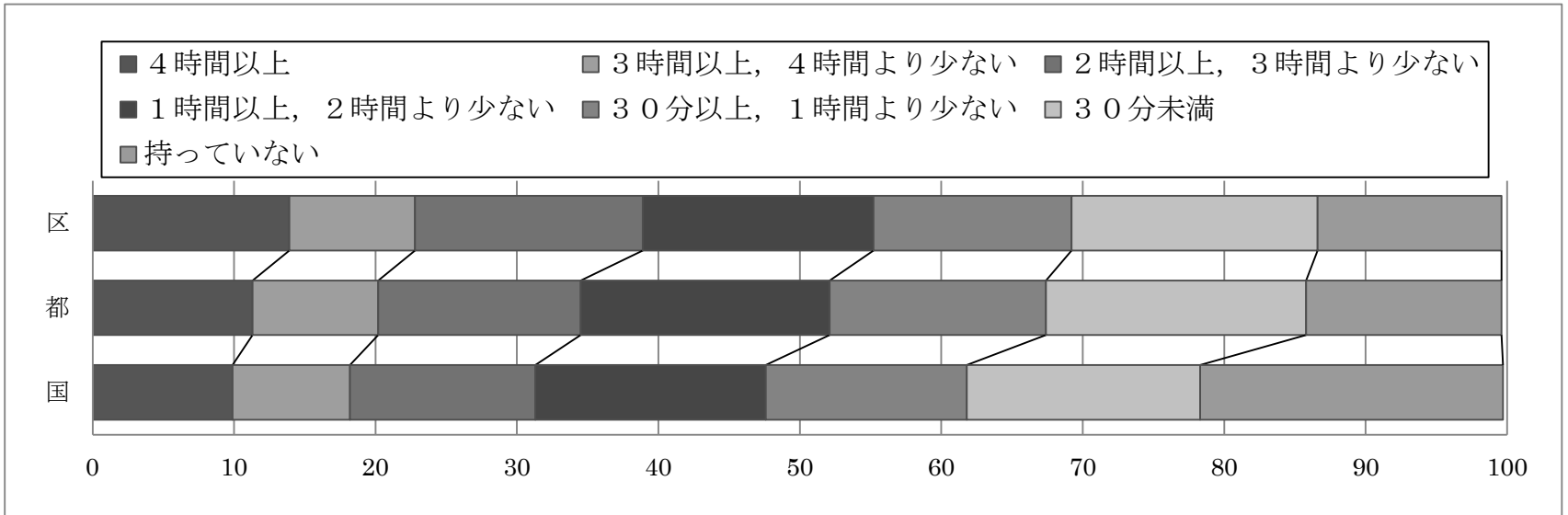
(%)

	4時間以上	3～4時間	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満	持っていない
区	3.7	3.8	4.6	8.1	13.1	35.8	30.8
都	3.2	2.5	4.1	7.4	12.3	38.4	31.9
国	3.1	2.6	4.1	7.1	11.1	30.0	42.0



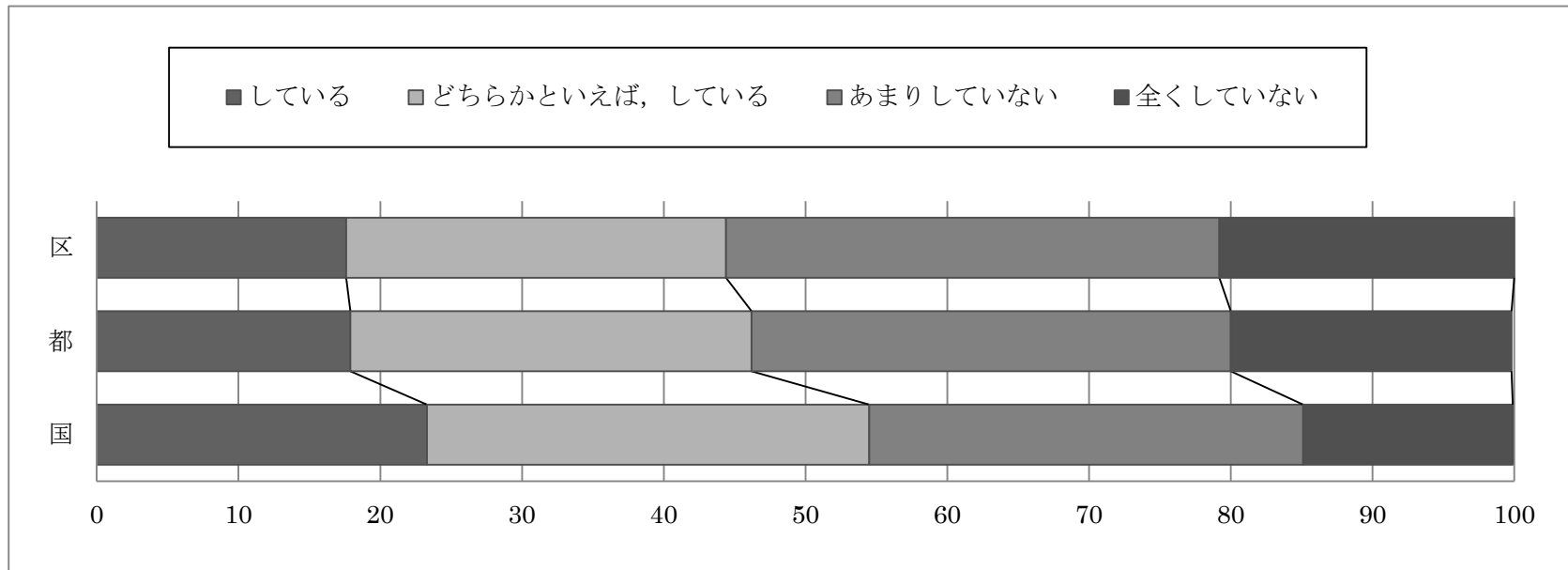
H27全国学力・学習状況調査結果(中学校)

普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 携帯電話やスマートフォンで通話やメール, インターネットをしますか(ゲームをする時間は除く)。(%)		4時間以上	3～4時間	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満	持っていない
		区	13.9	8.9	16.1	16.3	14.0	17.4
	都	11.3	8.9	14.3	17.6	15.3	18.4	13.8
	国	9.9	8.3	13.1	16.3	14.2	16.5	21.4



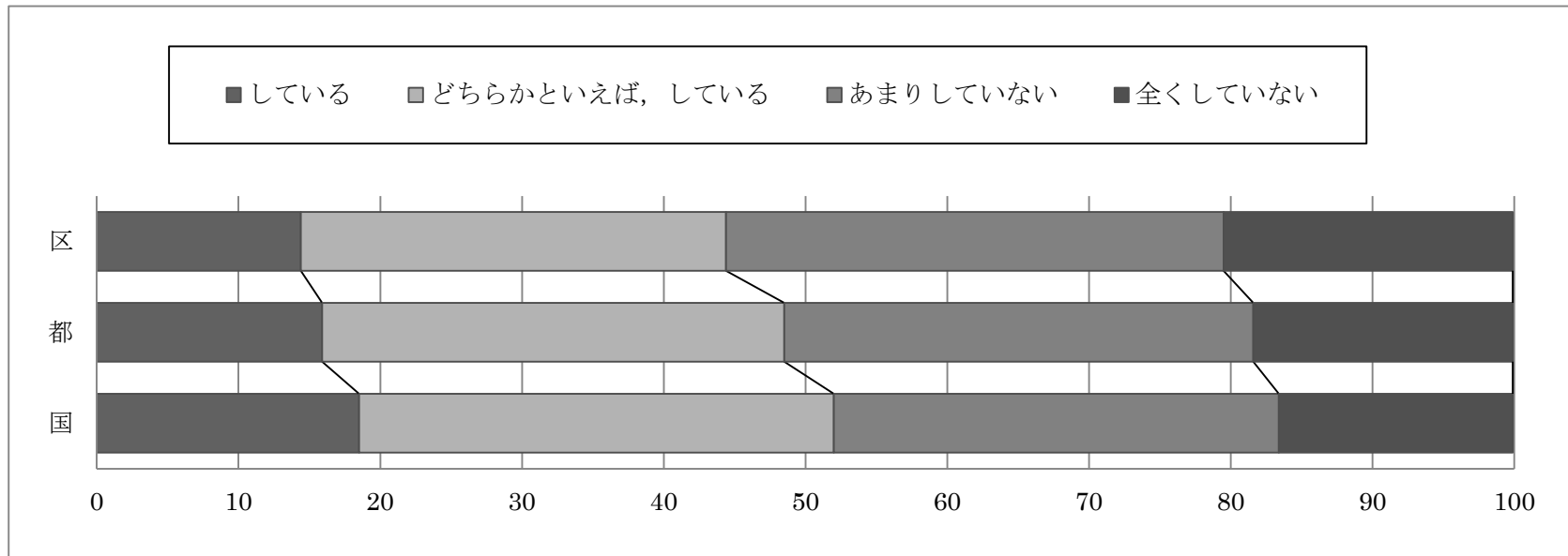
H27全国学力・学習状況調査結果(小学校)

		している	どちらかといえ ば、している	あまり、 していない	全く していない
家で、学校の授業の復習をしていますか。 (%)	区	17.6	26.8	34.8	20.8
	都	17.9	28.3	33.8	19.8
	国	23.3	31.2	30.6	14.8



H27全国学力・学習状況調査結果(中学校)

		している	どちらかといえば、している	あまり、していない	全くしていない
家で、学校の授業の復習をしていますか。 (%)	区	14.4	30.0	35.1	20.4
	都	15.9	32.6	33.1	18.3
	国	18.5	33.5	31.4	16.5



「読書は好きですか」と教科の正答率の関連(小学校)

回答	児童数の割合%	平均正答率%				
		国 A	国 B	算 A	算 B	理科
		(70.5)	(62.1)	(74.1)	(44.4)	(59.9)
1	45.8	75.9	69.8	77.6	49.6	65.1
2	23.1	69.6	60.3	72.4	42.1	58.9
3	16.9	66.2	57.5	73.2	41.3	55.7
4	14.0	60.9	46.8	67.3	35.6	50.4

1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる
 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない

「読書は好きですか」と教科の正答率の関連(中学校)

回答	生徒数の割合%	平均正答率%				
		国 A	国 B	数 A	数 B	理科
		(75.1)	(64.9)	(63.0)	(40.3)	(49.9)
1	42.9	79.6	69.7	66.6	45.3	55.2
2	22.6	74.6	64.6	62.7	39.7	50.2
3	17.2	71.3	61.6	59.4	35.8	44.0
4	16.9	68.3	56.4	57.8	33.0	42.0

1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる
 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない

やってみましょう「B」問題

中学校算数B問題 3 (2)

【正答例】

2組の向かい合う辺がそれぞれ等しい四角形は平行四辺形であることを用いて、 $EF = GH$ となる位置に点Fをとる。

正答率	板橋区	19.9%	全国	21.2%
無回答率	板橋区	54.3%	全国	48.2%

これからの時代の学力

「変化の激しい社会」を生き抜く力が必要

「今後10年～20年程度で、半数近くの仕事が自動化される可能性が高い」(オックスフォード大学 マイケル・オズボーン准教授)

「2011年度に米国の小学校に入学した子供の65%は、大学卒業時に今は存在しない職業に就くだろう」(ニューヨーク市立大学大学院センター キャシー・デビッドソン教授)

「2045年には人工知能が人類を超える」

これからの時代の学力

「コンテンツ」(内容)から

「コンピテンシー」(資質能力)へ

「何を知っているか」から

「どのような問題解決を成し遂げるか」へ

学力の三要素

A問題

①基礎的な**知識及び技能**の習得

②これらを活用して課題を解決するために必要な
思考力、判断力、表現力

③**主体的に学習に取り組む態度**

学校教育法第30条

B問題

学習指導要領(平成20年)

大学入試が変わります！

知識重視から

「思考力・判断力・表現力」を問う！

（今の中学校1年生の大学受験から）

新学習指導要領で目指すこと

何ができるようになるか

何事にも主体的に取り組もうとする意欲や、多様性を尊重する態度、他者と協働するためのリーダーシップやチームワーク、コミュニケーションの能力、豊かな感性や優しさ、思いやり等

新学習指導要領で目指すこと

どのように学ぶか

育成すべき資質・能力を育むための
課題発見・解決に向けた
主体的・協働的な学び
（「アクティブ・ラーニング」）

教科センター方式の
活用

オープンスペースの
活用

ICTの活用

新学習指導要領で目指す 育てたい資質・能力の要素

- ① 「何を知っているか、何ができるか」
(個別の知識・技能)
- ② 「知っていること・できることをどう使うか」
(思考力・判断力・表現力等)
- ③ 「どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか」
(学びに向かう力、人間性等)

新学習指導要領で目指す 資質・能力の要素

② 「知っていること・できることをどう使うか」 (思考力・判断力・表現力等)

必要となる知識・技能を組み合わせ、それらを活用しながら問題を解決していくための思考

必要な情報を選択し、解決の方向性や方法を比較・選択し、結論を決定していく判断や意思決定

伝える相手や状況に応じた表現

⇒アクティブ・ラーニングで！

新学習指導要領で目指す 資質・能力の要素

③ 「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」 (学びに向かう力、人間性等)

主体的に学びに向かう力、自己の感情や行動を統制する力、自らの思考のプロセスを客観的に捉える力

多様性を尊重する態度と互いのよさを生かして協働する力、リーダーシップやチームワーク、感性、優しさ、思いやり

⇒アクティブ・ラーニングで！

アクティブ・ラーニング

教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学習への参加を取り入れた教授・学習法の総称。

教室内でのグループディスカッション、ディベート、グループワークなども有効なアクティブ・ラーニングの方法である。

(中央教育審議会「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて
～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～(答申)」
平成24年8月28日)

板橋区授業スタンダード

- ★問題解決型・探究型の授業
- ★協働学習の導入
- ★指導と評価と支援の一体化

板橋区授業スタンダード

一単位時間の授業の流れ

◆学習目標の提示

- ・課題の把握
- ・自力解決、予想
- ・ペアやグループでの話し合い
- ・集団検討、練り上げ

ICTの活用
シンキングツール
の活用など

◆学習の振り返り

児童生徒の言葉で学習のまとめを行う

学校と家庭が連携した教育の推進

★フィードバック学習教材の活用

★家庭学習の実施時間の提示

小学校第1学年・・・20分

小学校2～6学年・・・学年×10分

中学校全学年・・・70分～90分以上

★ご家庭への情報提供

「入学前に身に付けたい生活習慣」など